

小学1～3年生の部

1	すきなひととはじめてできたドキドキだキョクンしたいとなりのせきで	札幌市立桑園小学校	1年	増田 有希
2	ガラスばりトランプタワー大きいなダイヤのライトガラスのつくえ	札幌市立二条小学校	2年	芦谷 吉成
3	雨やどりやねの下でおねがいだもうふらないでまだあそびたい	札幌市立平岸高台小学校	2年	泉 大地
4	友だちのネコをさわるとゴロゴロとのをならすよほくもにこにこ	札幌市立本町小学校	2年	武田 碧斗
5	夏休みま夏のたいようあびながら三笠のおんせんざぶんとはいる	札幌市立真駒内桜山小学校	2年	菊池 紘加
6	なんとなくぞくぞくするなはかまいりもくもく香るお線香の火	札幌市立円山小学校	3年	高草木 琴葉
7	夏休みあつすぎるけどその時のアイスクリームはほんとぜつびん	苫小牧市立清水小学校	3年	池内 洋介
8	夏休みしゆくだい日記もいやだよね遊びたいからがんばらなきゃね	苫小牧市立清水小学校	3年	佐々木 ほぬか
9	ピアノすき練習つらいどつしようけどやらないとうまくなれない	苫小牧市立清水小学校	3年	杉木 美穂
10	夏休みむしとりをしてクワガタをにがしてしまいとつてもないた	苫小牧市立清水小学校	3年	続橋 柊音
11	たんじょう日楽しみなのはプレゼントケーキやジュース全ぶごほうび	苫小牧市立清水小学校	3年	釣 遙夏
12	Tボールでヒットは三つ打率良い第三位だよ楽しかったよ	羽幌町立焼尻小学校	1年	高松 瑛士
13	きもちいいみんなでえんそうはくりよくバンドがつきもったもきいてほしいな	富良野市立鳥沼小学校	2年	谷本 麻衣
14	かわいねほくがそだてたねこちゃんはなでてほしくてすりよつてくる	富良野市立鳥沼小学校	2年	萩原 れお
15	ねんがんのフクロウカフェに行つてみた手にのるフクロウにんぎょうみたい	富良野市立鳥沼小学校	2年	長谷川 心優

小学4～6年生の部

16	楽しみは家に帰ってガンブラだ部品切り取り組み立てる時	恵庭市立松恵小学校	6年	竹村 真碧
17	蝉しぐれ放物線のホームランベンチ待つ友祝福の時	江別市立いずみ野小学校	6年	船倉 楓花
18	たのしみは朝日がのぼるすずしい風夏の散歩を祖母とする時	江別市立大麻泉小学校	6年	浅沼 巧人
19	たのしみは思うまま描く自由時間想像あふれ止まらない時	帯広市立森の里小学校	6年	竹原 咲優
20	たのしみは家のお庭でいちごなど作物たくさん朝取れる時	帯広市立森の里小学校	6年	谷 綾樹
21	夏休みおじいちゃん家の木のとびらギイといびくなつかしい音	札幌市立厚別西小学校	5年	斉藤 紀歩
22	雨上がり藻岩のまちを見下ろして濡れ草食べる鹿の群れたち	札幌市立大倉山小学校	6年	中川 蓮梨
23	サファイアの藍莓ひとつぶもぎたての口に広がるしあわせの味	札幌市立開成小学校	5年	熊倉 彩乃
24	たのしみは買つてもらった小説を一人静かに読んでいる時	札幌市立栄町小学校	6年	島崎 希愛
25	楽しみは自分の部屋で折り紙を切つたりしてて工作の時	札幌市立栄町小学校	6年	箱田 純怜
26	たのしみは緑にかこまれ星の下で赤いほのおを取り囲む時	札幌市立栄町小学校	6年	半谷日向花
27	楽しみは平日ふんばり午後九時に金曜ショーの最初見る時	札幌市立栄町小学校	6年	山本 裕太
28	指ひたし波打ちぎわで味見する海のスープは味が濃いめだ	札幌市立栄南小学校	4年	小川 夕輝
29	かわらない今と昔の波の音れきし奏でるちぢり浜にて	札幌市立札幌小学校	4年	成田 環花
30	たのしみは図工のしゅぎょうつくるもの材料見ながら考えるとき	札幌市立三角山小学校	6年	秋山 樹
31	たのしみは雨雲去つて空が見え輝く虹に癒されるとき	札幌市立三角山小学校	6年	岸 遙乃
32	たのしみは宇宙のことを考えて数多（あまた）のロマンにときめいた時	札幌市立三角山小学校	6年	田中 啓資
33	夏休み時間の海に飛びこんで自由におよぶ魚になった	札幌市立新琴似小学校	6年	青山 湊
34	思い出すお日さま色のあたたかいタオルをたたむ私と祖母と	札幌市立新札幌わかば小学校	6年	日野田 響香
35	とんぼ玉白うすみどりまじり合う一期一会のガラスのしずく	札幌市立西園小学校	5年	形川 椿季
36	夏の海家族で競争自由型クローラ犬かきイルカにカエル	札幌市立中央小学校	5年	大西 流碧
37	暑い夏毎年行くよ遊園地巨大なめいろ姉とクリアだ	札幌市立立中央小学校	4年	工藤 真心
38	あつい日にはなびパチパチたのしいなそのあとラムネパチパチおいしい	札幌市立立中央小学校	4年	杉山 奏太
39	夏休みカードをもって自転車できぼう公園六時二十五分	札幌市立立中央小学校	4年	長 柚月
40	夜の空黄金の顔かがやいて怪物みたい太陽のとう	札幌市立立中央小学校	4年	山本健太郎
41		札幌市立二条小学校	4年	広瀬 楷
42		札幌市立二条小学校	4年	広瀬 楷

43	聞こえるよ鳥のさえずり波の音そつとささやく海風の音	札幌市立白楊小学校	4年	駒井 翔太
44	たのしみはだめとわかつているけども朝の時間でマンガ読む時	札幌市立茨戸小学校	6年	今井 奏太
45	たのしみは運動会の短距離走一位になって駆け抜ける時	札幌市立東山小学校	6年	河崎 仁明
46	星月夜藍色の空彩るは流るる星と人々の願い	札幌市立北光小学校	6年	木村 颯花
47	なんだろう聞いたことない外国語身ぶり手ぶりで気持ち伝える	札幌市立山の手南小学校	4年	水林 与
48	母いかるテストで0点のびのび太ゲームほっしゅう勉強じこく	函館市立北日吉小学校	4年	高 愛依莉
49	夏休みあつというまに最終日すこしさみしいセミの鳴き声	函館市立北日吉小学校	4年	吉田ひまり
50	たんちようが親子いっしょに草たべるひすいみたいな釧路湿原	北海道教育大学附属札幌小学校	4年	鈴木さくら

中学生の部

51	妹がすこし憎くて愛おしい幼いわたしの未知との遭遇	旭川市立光陽中学校	2年	相澤 結星
52	夏休み胸が高鳴る一人旅車窓からの新たな景色	旭川市立永山中学校	2年	斎藤 柚花
53	白鳥（しらとり）が波にのまれる太陽へ西にはばたき残るしずけさ	旭川市立東廬栖中学校	2年	成澤 辰
54	ペン握り彩られてく白い紙一つの絵から広がる世界	網走市立第五中学校	2年	佐藤 花
55	そよ風が板書中に窓通る暑苦しい顔少し和らぐ	岩見沢市立上幌向中学校	2年	井筒 風太
56	教室のスボットクーラー人だかりひとり窓際涼風ゲット	恵庭市立恵み野中学校	2年	小川 都人
57	丁寧に折られた夏の折り鶴よ千羽連なり想いよ届け	恵庭市立恵み野中学校	2年	真鍋 一心
58	舞台上ライトの明り身にあびて踊り続ける私の体	恵庭市立恵み野中学校	2年	吉川 心琴
59	折り鶴を託され想う原爆忌学び続けるぼくらの使命	北広島市立緑陽中学校	3年	森 一真
60	先輩とネクタイ整え全員で楽しむしかない努力の成果	北見市立南中学校	2年	川島 莉乃
61	夏の夜金魚すくいに夢中な弟無邪気な笑顔水面に揺れる	北見市立南中学校	2年	日並 悠人
62	風で鳴く瑠璃のイルカが泳ぐとき夏を伝えた祖母の風鈴	北見市立南中学校	2年	三上 夏帆
63	「かわいいね」喉にとどまり間が空いたそして私は言葉を替えた	北見市立留辺蘂中学校	2年	松久 昊正
64	またくるね祖父母と別れ帰り道忘れ物してすぐに再会	札幌光星中学校	2年	山室 結成
65	神宮で休憩中に木もれ日が優しく光り心やすらぐ	札幌市立厚別南中学校	1年	上島さくら
66	畜大に着いた瞬間喜んだだうてねこはマンガの聖地	札幌市立厚別南中学校	2年	下田 成海
67	忘れ物した時にだけ出会う君毎日忘れて遅刻ギリギリ	札幌市立光陽中学校	2年	坂口 風紗
68	よれないみんなと同じユニフォームいつ立てるのかあの打席の中に	札幌市立光陽中学校	2年	沼田 直樹
69	ＡＩでねこしゃべらせたら意外だなあまえんぼうで普段と違う	札幌市立光陽中学校	2年	湊 彩音
70	霧多布視界を埋める濃い霧に僕の悩みも晴れると祈る	札幌市立信濃中学校	1年	森 智紀
71	新学期からだを包む春風よ導いてくれまだ知らぬみち	札幌市立信濃中学校	2年	岸岡 歩佳
72	一面に色とりどりの鬱金香単身赴任父からライン	札幌市立信濃中学校	2年	互野 芙柚
73	幼き日幸せのクローバー父の手へ今も輝く葉となりて	札幌市立信濃中学校	3年	本間 智彩
74	写真から語りかけたら聞こえそうコーヒー一杯供える朝	札幌市立新川中学校	2年	坂東 里桜
75	振り向いて急いで駆けるオープン画面影残るペールオレンジ	札幌市立澄川中学校	2年	大野 壮太郎
76	新しいリップをひとめり鏡見てなんだか今日はいいいことありそう。	札幌市立東白石中学校	2年	角所 夢
77	目玉焼きちよつと半熟成功しふと笑みこぼす静かな朝に	札幌市立東白石中学校	2年	西田 佳純
78	ソファアで寝朝におきるとベッドだが親の腰には湿布がふたつ	札幌市立東白石中学校	2年	宮本 蒼士
79	青い空入道雲を突き抜けて白線描くは比翼の羽よ	札幌市立東月寒中学校	3年	大江百合絵
80	縁側に風鈴の音聴きながらのびてだらける夏の家猫	札幌市立平岸中学校	1年	小石川 葵
81	最前列炎の熱を肌を受け、気分高まる万博の夜	札幌市立北陽中学校	3年	神山明日香
82	ゆつくりと風に運ばれ道に舞う秋のきれいな落ち葉がいつぱい	札幌市立宮の丘中学校	2年	我有 琉偉
83	炎天下帰って飲んだ冷コーラの味きつと大人のビール	札幌市立山鼻中学校	2年	橋本 颯仁
84	休日に水族館に行ってきた花のようだな群れて舞う稚魚	砂川市立砂川中学校	2年	坂本 悠真
85	夏休み原爆ドームを見に行った歴史に触れて涙こぼれる	砂川市立砂川中学校	2年	西泉 凌杜
86	「大丈夫」そのひとことどふとゆるむ鍵盤よりもあたたかい音	滝川市立明苑中学校	2年	野崎 桃花
87	しんとした委員会後の図書室でもう少しだけ何かしたい	滝川市立明苑中学校	2年	松田 凪紗
88	ドタバタと足音響く昼休み戦う男子あきれる私	苫小牧市立明野中学校	2年	前原みのり

134	兄帰省十数日の休息後帰りし時に妹が泣く	北海道釧路工業高等学校	2年	古川 恭平
133	水音にひとときまざる蝉の声光のなかで森は息づく	北海道釧路工業高等学校	2年	田中 翔星
132	夕焼けの水平線にひとすじの波あと光る夏の記憶	北海道釧路工業高等学校	2年	大町 桜大
131	見えぬまま向こうのバスがやってくる霧が包んだ今日がはじまる	北海道釧路工業高等学校	1年	菅野 瑛斗
130	山奥の溪流流れる獣道鹿の親子がこちらを覗く	北海道小樽水産高等学校	2年	本間 柚亜
129	穏やかな太平洋がお出迎え若竹丸がハワイを目指す	北海道小樽水産高等学校	2年	武田 大空
128	帰り道水面に映る明るさは小樽の夜景歴史の写し	北海道小樽水産高等学校	2年	北守 玲
127	終戦後80年にみな願う穏やかな海穏やかな空	北海道小樽水産高等学校	2年	荒川 琉空
126	痛みさえ未来の力と信じてつと土俵の砂で今日も鍛える	北海道小樽水産高等学校	1年	渡邊鴻志朗
125	夏休みコートの上で羽が舞う自分に厳しく自分に強く	北海道小樽水産高等学校	1年	三浦 怜生
124	ダリア咲く秋風そよぐ恋心それは叶わぬ儚い想い	北海道小樽水産高等学校	1年	樋口 花
123	四キロの鉄槌(ハンマー)回す毎日が未来の自分を輝かすかな	北海道小樽水産高等学校	1年	澤田 明宝
122	晴れの夜夏限定の星ならび指でむすんで光をたどる	北海道小樽水産高等学校	1年	坂本 美優
121	帰省して家の手伝い休めない昆布を干した富磯の浜	北海道小樽水産高等学校	1年	小笠原獅眞
120	夏祭り去年と同じ浴衣着て顔を可愛く仕上げをしよう	北海道小樽水産高等学校	1年	大迫 煌
119	七夕に想いをのせて結びつけ夜空に光るあなたとわたし	北海道岩内高等学校	3年	森下アンナ
118	あの日見た流星群をもう一度君と見たいと星に願うよ	北海道岩内高等学校	3年	村本 知香
117	暑い夏セーラー服に恋をした君と手つなぎただ嬉しくて	北海道岩内高等学校	2年	宮川 華
116	蝉時雨イヤホン越しにさんざめく命の叫びは誰にも消せない	北海道岩内高等学校	2年	千保 和輝
115	照明の光が楽器に反射するみんなの思いが音で伝わる	北海道岩内高等学校	1年	加藤 蓮音
114	残り香よ主の去りし祖母の家遥かに聞こえるあの日の太鼓	北星学園大学附属高等学校	3年	五十嵐美結
113	息切らしホームに着くが間に合わず見送りながら言い訳探す	市立札幌平岸高等学校	1年	熊谷 元親
112	菜の花の香りが私を呼んでいる包まれていく私の心	市立札幌新川高等学校	3年	西山 珠菜
111	ふんわりと肌をなでゆく夏の風土のにおいが胸に広がる	市立札幌新川高等学校	3年	楠本 梵乃
110	2年後はスーツを装い歩きたい朝日に霞むオープンキャンパス	札幌光星高等学校	2年	小林 菜結
109	縄文の暮らしの沈む三内の遺跡を照らし夕陽が落ちる	札幌光星高等学校	1年	伊達 蒼介
108	土かぶる人参抜けば香り立つ夏の日差しに汗もきらめく	帯広北高等学校	3年	村瀬 玄侍
107	最後だねこのステージも過去になる後輩達の架け橋になれ	帯広北高等学校	3年	民安 和佳
106	朝霧のなかをゆつくり熱気球大地を離れ空の声を聞く	帯広北高等学校	3年	菅井 結愛
105	伝えたい紋白蝶に乗せてゆく幼心をいつの日までも	帯広北高等学校	3年	川上 七聖
104	冷房で冷えた身体に沁み渡る猫のぬくもり日向の温度	帯広北高等学校	2年	山口とみほ
103	黄昏に七色の橋空愛でるベトリコールに酔いしれながら	帯広北高等学校	2年	田村 優衣
102	ふれた手がなにも言わずに伝えてたあなたのことを好きになった日	帯広北高等学校	2年	佐々木来望
101	夏休み離れた友も帰省して少し寂しい知らない話	帯広北高等学校	2年	木村 柚希
100	花火消え闇に残りし笑い声浴衣の袖を風がすりぬけ	帯広北高等学校	1年	五十嵐結翔

高校生の部

99	授業中ぱっと目が合うその瞬間やつぱり私は顔が赤らむ	和寒町立和寒中学校	2年	保土澤舞音
98	利尻富士青空高くそびえ立ちカモメとともに夏をかけぬけ	利尻町立利尻中学校	3年	難波 大空
97	「久しぶり」大人びた顔とその振る舞い変わらないのは私だけだな	紋別市立渚滑中学校	3年	町田 姫唯
96	赤い傘雨がボツンと通学路君のとなりで君と一緒に	北海道自由が丘学園月寒スクール	3年	山崎 結子
95	気づいたら絵の具だらけのジャージを急いで洗う学級旗作り	美幌町立美幌中学校	2年	千葉 徠々
94	北海道豊かな自然の陸と海汚(けが)しはさせぬ僕ら道産子	美幌町立北中学校	2年	渡邊 蓮
93	うららかに光あふれて咲く桜希望を乗せて風に舞い散る	美唄市立東中学校	2年	阿部 光夏
92	上を向くそこに広がる青い空今の悩みが全て消えゆく	美唄市立東中学校	2年	秋保 文汰
91	電気消し布団かぶってっそりと語りあかした宿泊学習	苫小牧市立和光中学校	2年	高嶋 航輔
90	遠くからいつも眺める君のこと手を繋げる日星に願おう	苫小牧市立凌雲中学校	2年	高橋 玲奈
89	雨が降る楽しそうだな小さい子何気ない日が一番だった	苫小牧市立苫小牧東中学校	2年	細川 莉奈

147	汗光るダブルス組んで声かける夏のコートは友情の色	学校	3年	大久保羽空
146	胸はずむ太鼓の響き声揃えひとつとなりて夏空に叫ぶ	学校	2年	岩佐 琉杜
145	机上には開きかけた本の森蟬しぐれ染む夕暮れの窓	学校	2年	岩崎 一平
144	朝5時にランニングから始まってグラブの匂い汗と混ざれる日	学校	1年	横山 陸
143	背を追えば届かぬ距離に息が切れ名前も呼ばれぬまま夏が過ぎ	学校	1年	鈴木 悠華
142	文化祭友達と見る夢・花火笑顔はじける夏の一時	学校	1年	中川 結咲
141	コンクール緊張はしる舞台裏日々の努力を思い出す今	学校	1年	友貞 美媛
140	リングイン男同士の殴り合いビビらず行けよ先制パンチ	校	2年	高木 響希
139	皿の上積み重なってく卵焼き何度やっても似ないあの味	北海道千歳高等学校	3年	中林愛結奈
138	手を合わせ希望が光る流れ星兆しが見えた受験の前夜	北海道千歳高等学校	3年	小池 美優
137	ランナーが佐呂間の町を駆けぬけるみんなの応援心に届け	北海道佐呂間高等学校	3年	吉野 永
136	愛犬が問題視く膝の上熱が後押し総本山の夏	北海道札幌西高等学校	3年	林 秀一郎
135	掌に線香花火揺らめきて過ぎし日を想う夏の夜愛し	北海道札幌視覚支援学校	3年	吉田 莓歌